

## クイック・スタート・ガイド

本書は、WebSphere eXtreme Scale のインストールおよび簡単なアプリケーションの実行を始めるときに参照していただくガイドです。

各国語バージョン: 各国語に翻訳されたクイック・スタート・ガイドを入手するには、製品 DVD から PDF ファイルを印刷してください。ファイルは `dvd_root/quickstart` ディレクトリーにあります。

### 製品の概要

IBM® WebSphere® eXtreme Scale は伸縮性および拡張性のある、メモリー内のデータ・グリッドで、値あるいはグラフをキーによりアドレス可能な方式で保管します。アベイラビリティの要件に応じて、データ・グリッドに保管するデータの複製を作成でき、データベース統合を実現することができます。

WebSphere Application Server および WebSphere Application Server Network Deployment の既存のインストール済み環境に、WebSphere eXtreme Scale を統合することができます。また、本製品をスタンドアロン環境でインストールすることもでき、これは Java Platform, Standard Edition アプリケーション環境と Java Platform, Enterprise Edition アプリケーション環境の両方でサポートされます。

### 1 ステップ 1: ソフトウェアのアクセス



製品をパスポート・アドバンテージ (Passport Advantage®) からダウンロードする場合は、ダウンロード文書 (<http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg24032428>) に記載されている指示に従ってください。

この製品オファリングのメディア・バックには、以下が含まれます。

- IBM WebSphere eXtreme Scale バージョン 8.5 (32 ビットまたは 64 ビット)

### 2 ステップ 2: ハードウェアとシステム構成の評価



詳細なシステム要件の資料 (<http://www-01.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27019121>) を参照してください。

### 3 ステップ 3: 資料のアクセス

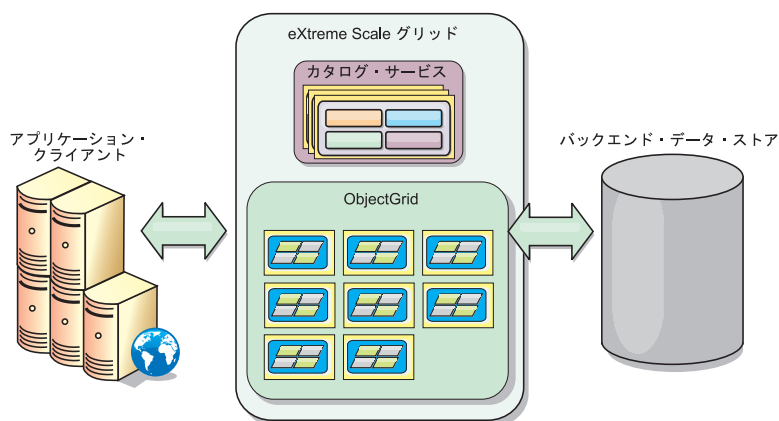


インストールの説明書を含む、完全な資料については、WebSphere eXtreme Scale 製品資料 (<http://www.ibm.com/software/webservers/appserv/extremescale/library/>) を参照してください。

### 4 ステップ 4: eXtreme Scale アーキテクチャーの検討



以下の図は、WebSphere eXtreme Scale の、分散されたコヒーレントなキャッシュ環境を示しています。追加のトポロジー・ダイアグラムは、インフォメーション・センターで入手できます。



## 5 ステップ 5: 製品のインストール



WebSphere eXtreme Scale バージョン 8.5 は、Java Platform, Enterprise Edition 環境または Java Platform, Standard Edition 環境でインストールおよびデプロイすることができます。

- IBM Installation Manager のダウンロードとインストール: Installation Manager は、製品メディア上で使用可能なファイルや、パスポート・アドバンテージ (Passport Advantage) のサイトから入手したファイル、あるいは [http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/Recommended\\_fix/Software/Rational/IBM\\_Installation\\_Manager](http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/Recommended_fix/Software/Rational/IBM_Installation_Manager) からのファイルを使用して、インストールすることができます。
- 適切な製品リポジトリを Installation Manager にダウンロードしてインストールします。 [http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/wxsinfo/v8r5/topic/com.ibm.websphere.extremescale.doc/txs\\_obtain\\_IM.html](http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/wxsinfo/v8r5/topic/com.ibm.websphere.extremescale.doc/txs_obtain_IM.html) を参照してください。

スタンドアロン環境の製品オフリングには IBM Runtime Environment for Java Technology Edition バージョン 6.2.6 サービス・リリース 1 フィックスパック 1 が含まれます。ランタイム環境は `install_root/java` ディレクトリにあります。詳しくは、インフォメーション・センター: <http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/wxsinfo/v8r5/index.jsp> で WebSphere eXtreme Scale のインストールについての情報を参照してください。

## 6 ステップ 6: サンプル・データ・グリッド・アプリケーションの実行によるインストール済み環境の検証



以下のステップに従ってスタンドアロン・インストール済み環境を検証することができます。

1. コマンド・ラインで、開始用 (getting started) ディレクトリ (`cd install_root/ObjectGrid/gettingstarted`) を開きます。
2. `runcat.sh|bat` スクリプトを実行してカタログ・サービス・プロセスを開始します。
3. `runcontainer.sh|bat server0` スクリプトを実行してコンテナ・サーバー・プロセスを開始します。
4. 以下のクライアント・コマンドを実行して、データ・グリッドに対してデータの追加、更新、削除、および検索を行います。
  - データ・グリッドにデータを追加するには、`runclient.sh|bat i key1 helloworld` を実行します。
  - `key1` 値を検索するには、`runclient.sh|bat g key1` を実行します。
  - `key1` 値を更新するには、`runclient.sh|bat u key1 goodbyeWorld` を実行します。
  - `key1` 値を削除するには、`runclient.sh d key1` を実行します。

### 追加の情報



製品 DVD に収納されている WebSphere eXtreme Scale インストール資料および README ファイルを参照してください。 README ファイルは `dvd_root` ディレクトリに入っています。インストール資料は `dvd_root/docs` ディレクトリに入っています。

